



夏季短期研修 実施報告

国際センターでは、毎年夏・春の長期休業期間中に、さまざまな国・地域で短期研修を実施しています。令和4(2022)年度の夏季休業期間中に国際センターでは、2つの短期研修プログラムを実施し、のべ24名の学生が参加しました。各研修に参加した学生からの感想を掲載します!

夏季短期研修

カナダ・プリンスエドワードアイランド大学

本学協定校(参加者19名)
日程:2022年8月4日(木)
～8月29日(月)26日間



コロナ禍において海外渡航が容易なものではなくなった中で、海外に行く機会を得て、多文化主義社会として知られるカナダ、赤毛のアン舞台となったPEI(プリンスエドワードアイランド)で研修を行えたことはとても幸運な事でした。島の人と交流し、彼らの親切な心と、島を愛する心に感銘を受け、有意義な時間となりました。

政治学科2年
田中 あかりさん

夏季韓国語研修(オンライン)

韓国・東国大学校
本学協定校(参加者5名)
日程:2022年8月8日(月)
～8月12日(金)5日間



今回の東国大学校夏季研修では、先生方や東国大の学生さんたちの優しさを感じながら、楽しく研修に臨むことができました。また、韓国へ行ったことのない私にとって、生の韓国語で韓国の文化を学ぶことができる非常に貴重な機会であっただけでなく、韓国語学習意欲が向上しました!

英語英米文化学科3年
玉串 涼夏さん

夏季短期研修

フランス・アルザス・欧州日本学研究所連携プログラム

日程:2022年8月28日(日)
～9月6日(火)10日間
(催行人数に満たなかったため実施取りやめ)



夏季英語研修

福島(国内)・プリティッシュビルズ

日程:2022年9月3日(土)
～9月5日(月)3日間
(催行人数に満たなかったため実施取りやめ)



※なお【学習院—アルザス欧州日本学研究所連携プログラム】については、基礎教養科目「海外フィールド研修(欧州・日本研究)」としてオンラインにて2学期に開講しています。



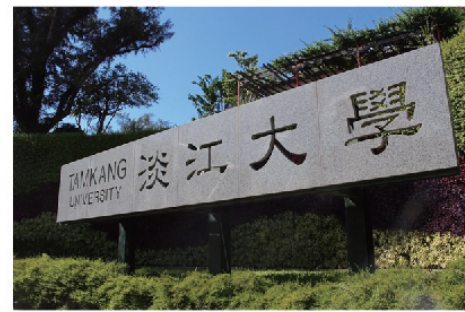
春季短期研修の実施について

海外協定校等で以下の2つを予定しています。長期留学の準備や、海外未経験の方も、短期研修から参加してみませんか? 募集時期や日程の詳細は、G-Port、国際センターホームページおよび掲示で公示いたします。

研修名	研修先	募集人数	日程
春季短期研修	アメリカ・カリフォルニア大学サンディエゴ校	18名	2023年2月上旬～
春季中国語研修(オンライン)	台湾・淡江大学	15名	2023年3月上旬～



アメリカ・カリフォルニア大学サンディエゴ校



台湾・淡江大学



令和4(2022)年度第2学期以降の募集・お知らせ

令和5(2023)年度 第2期協定留学プログラム派遣学生募集

本年度10月中旬より、2023年度第2期協定留学プログラム(留学期間:2023年10月～翌年9月/派遣先:アジア・ヨーロッパ・アメリカ)の募集を行います。

募集要項は国際センターホームページ、G-Port及び掲示等で公示しますので、確認してください。

なお、本プログラムで留学した先輩方の報告書をセンター内で閲覧することができます。国際センターのホームページでも一部の報告書を公開しておりますので、ぜひご活用ください。

(<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/abroad/messagefromsenior.html>)

「留学した先輩からのメッセージ(留学状況報告書)」をご確認ください)



「留学した先輩からのメッセージ(留学状況報告書)」



海外留学のための奨学金制度について

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、できるだけ多くの皆さんが留学等のチャンスを得ることができるよう、さまざまな制度を設けています。各制度の詳細・募集要項は、いずれも国際センターホームページ、G-Port、掲示等により確認してください(独自の奨学金を設けている学部・研究科もあります。詳細は、所属の学部学科事務室にお問い合わせください)。

※①～⑤の内容はいずれも予定で、必ず最新情報を確認してください。

①学習院大学海外留学奨学金

応募条件	「留学願」が承認されて渡航する者
奨学金額	1名につき年間40万円以内(給付)
採用予定数	延べ80名程度
募集時期	年2回(6月、12月)書類審査

2023年度に留学を開始する方を対象とした第1回目の募集(12月)については、募集要項を11月に国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示する予定です。

なお、本奨学金を受給した先輩方の留学報告書(協定留学・協定外留学)が、国際センターにて閲覧できます。

②学習院大学海外短期研修奨学金

応募条件	夏季・春季休業中に3週間以上の海外語学研修・短期研修に参加する者
奨学金額	1名につき7万円以内(給付)
採用予定数	年間170名程度
募集時期	年1回(1月)書類審査

③学習院大学北米等への留学促進奨励金

応募条件	本奨学金対象の国際センター主催夏季・春季語学研修に参加する者
奨学金額	1名につき20万円以内(給付) オンライン研修の場合は3万円以内
採用予定数	20名程度
募集時期	年2回(予定) 書類審査

④学習院大学語学能力試験受験の助成

応募条件	留学のための語学能力試験を受験する者
奨学金額	1名につき1万円以内(給付)
採用予定数	年間80名程度
募集時期	年2回(7月、1月)書類審査

⑤大学院学生の国外における研究発表援助

応募条件	海外で開催される研究会等で発表を行う大学院生(共同発表を含む)
奨学金額	1名につき10万円以内(給付)
採用予定数	年間20名程度
募集時期	年1回(4月～翌1月) 書類審査



編集後記

「Newsletter Vol.50」の記念号をお届けします。創刊当時、国際センター所長でいらした湯沢威 経済学部名誉教授に巻頭言をご執筆頂いたほか、現在活躍中の元協定派遣学生、元協定留学生の皆様方からも寄稿して頂きました。国際センター設立から32年が経ち、これまで数え切れない程の学生を送り出し、留学生を受け入れてきました。国際センターは、これからも、グローバル時代を担う学生たちをサポートし、より多くの皆さんに世界へ羽ばたいていただきたいと願っています。

国際センター運営委員 令和4(2022)年度

運営委員長 ディミトリ・リディエフ(国際センター所長)
運営委員 水野 謙(副学長)
運営委員 阿部 克則(法学部)
運営委員 金田 直之(経済学部)
運営委員 田辺 千景(文学部)

運営委員 岩田 耕(理学部)
運営委員 久保 公二(国際社会科学部)
運営委員 朝間 博之(学生センター所長・理学部)
運営委員 藤谷 典子(国際センター)
運営委員 馬宮 朝子(国際センター課長)

※本紙掲載内容は、2022年9月1日現在のものです。

学習院大学国際センター
International Centre, Gakushuin University



2022年度 夏季 カナダ・プリンスエドワードアイランド大学 短期研修参加学生撮影



Globalization(グローバル化)とInternationalization(国際化) 経済学部名誉教授 湯沢 威



今から4半世紀ほど前(1998年4月)に創刊された時、私は国際交流の意義やその推進を強く訴えていました。ここ2、3年のコロナ禍の影響はあるものの、全体的には海外の大学への留学および海外からの受け入れ学生の数は増加しております。とくに国際社会科学部の新設がそれに拍車をかけているものと思われま。海外からは中国、韓国からの留学生の数が増加していますが、これは世界の経済の趨勢を如実に反映するものでしょう。

「グローバル化」の歴史をみると、世界は競争と協調によって発展し、豊かになってきました。1820年の世界第1位の経済大国は中国でした。中国が全世界のGDPの約3分の1を占めていました。しかし産業革命を成し遂げたイギリスが「世界の工場」として経済大国となりましたが、19世紀末にはドイツやアメリカに追い越されます。このような国際間の競争の中で、世界経済は結びつきを強めてきました。例えば1870年の世界のGDPに対して、貿易額はわずか4.6%でしたが、2008年には31.2%となっています。

日本は1960年代、70年代の高度成長時代以降、積極的に海外に進出し、とくに人件費の安いアジア諸国に工場を移転しました。1990年代以降は、「失われた」20年ないし30年という低成長時代に突入し、国際競争力は低下しつつあります。しかし、アジアの国々は日本の技術を吸収し、さらに発展させて、安価で高品質、高性能の製品を世界に送り出しています。戦後の日本がアメリカの技術を吸収して、家電や自動車をアメリカに輸出して、高度成長を享受しましたが、これをアジアの国々が再現しているわけです。

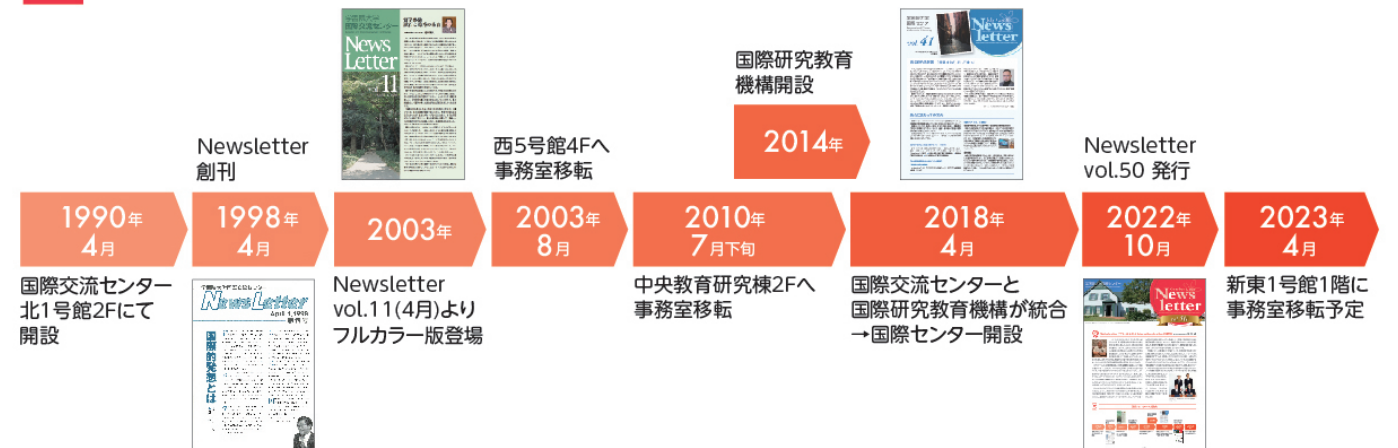
「国際化」という表現は、19世紀に入って、国民国家が形成されて以降に多用されるようになりました。国を主体として、グローバル化を推進するプロセスが国際化です。日本のGDPは現在、世界3位ですが、ドイツのベルテルスマン財団によるグローバル化の指数では、日本は2020年には31位でした。日本はまだグローバル化に対応する国際化への主体的な取り組みは立ち遅れています。真のグローバル化を押し進めるためには、制度的な枠組みの見直しとともに、人々の意識の変革が求められます。それぞれの国の多様性を尊重し、相互信頼を深めることが不可欠です。相手国の歴史、政治、社会、文化を理解し、同質性と異質性を理解することが必要です。皆さん一人一人がグローバル化の波に立ち向かって、果敢に国際化に貢献されることを期待します。



1999年11月に国立東洋ナポリ大学と協定調印(左上:本人)



国際センターの歴史





お元気ですか?先輩からお便りです

我々は繋がっている

学習院での生活は同じ文化空間の中に存在する人との交流しか出来なかった自分に、とても新鮮で有意義な時間を与えてくれました。発表のための論文の準備や、修士論文に取り組んだことによって、文学研究に関する自主的な勉強というものが身に着きました。それに、国際交流センターの友人との飲み会や合宿、バレーボール授業というなんとも学生らしいイベントを楽しむことができたのも、学習院のメンバーと一緒に過ごせたからです。私はこのような経験を通して、様々な側面から人文学を見つめることができました。やはり、人文学は楽しいものであり、世の中を生きる人々のために機能し、我々との共感を促すものだと思います。

私は学習院での経験によって人文学の世界に導かれ、今でもその道で悩みながら歩み続けています。パンデミックによって人々の活動はシステムの中で統制され、監視を受けています。まるでジョージ・オーウェルの『1984』(1949)に描かれている世界を連想させます。20世紀のグローバリズムを通して地球村という概念が日常化しました。しかし、21世紀のグローバリズムはパンデミックを誘発する主な原因になってしまい、その概念は逆行しつつあります。我々は自分の世界に閉じ込められ、閉鎖された空間だけが安全だと考えています。ともすると、このまま絆という言葉はなくなってしまうのでしょうか?それは違うと思います。人と人がリンクしようとする願いは相変わらず我々の中にあり、このような物理的な閉鎖空間を拒否しようとしています。認識の彼方に存在する2005年の懐かしい記憶が、ここに記録されることにより、我々が繋がっているということを証明できますように。



慶北大学校 日語日文学科 准教授 趙 軒求

2005年慶北大学校より協定留学

留学を通して広がる視野

私が学習院大学の協定校であるパイロイト大学に交換留学したのは、2007～2008年のことで、もう15年前のことになります。入学当初は、まさか自分が留学をするなんて考えてもいませんでしたが、当時のドイツ文学科の先生方にパイロイト大学の短期語学研修を勧められ、2年生の夏休み時にそのプログラムに参加したことをきっかけに、長期留学の夢を実現させたいという思いが高まっていったことを今でも鮮明に覚えています。

交換留学では苦楽様々を経験しましたが、今となっては全てが良い思い出です。留学は語学力の向上だけでなく、様々な価値観を持った人と接することで自身の視野を広げ、またこれまで自分が信じてきた常識が当たり前ではないことを学べる良い機会だと思います。

現在、私はドイツの学術機関において、学生や研究者向けの奨学金事業、また日本でのドイツ留学の機運を高めるためのマーケティング活動に従事しています。私自身が留学時に様々な方にお世話になった立場ですので、今度は逆の立場で学生の皆さんを支援できることをとても光栄に思っています。学生時代の経験は必ず社会に出てから活かせると思いますので、留学を迷っている後輩の皆さんには、ぜひ一歩踏み出してみることをお勧めいたします。

DAAD 東京事務所 久留島 義信



中国人とウクライナ人の同僚と 2007年パイロイト大学へ協定派遣 (左下・本人)



留学便り

ここで作った思い出は一生の宝

光陰は矢の如し。コロナの関係で半年はオンライン留学となって、実際に東京で生活したのは約5ヶ月だけでしたが、非常に充実した生活を送れました。

様々な授業を取って、日本語だけではなく、国際社会科学の知識も身につけました。授業の他に、国際センターもたくさんのイベントを準備してくれました。コロナの関係で東京以外はあまり行けませんが、川越散策、鮎細工体験などのイベントが体験できて楽しかったです。

また、学習院でたくさん優しい人達と出会えて、遊びに行ったり、話し合ったりして、友達になってくれて、幸せでした。短い間ですが、ここで作った思い出は一生の宝物だと思います。心から皆さんにありがとうございました!



楊 尊龍さん (中国(香港)・香港中文大学より協定留学 (2021年9月～2022年3月:オンライン、2022年4月～2022年8月:来日))

新しい自分や世界に出会える

リトアニアはまだ日本ではあまりよく知られていない国ですが、有する豊かな自然やヨーロッパの綺麗な街並みを目に出来たり、歴史ある現地語に加えて他言語も街中で聞こえてきたり、辛い過去を乗り越え小国でもポジティブに活発である雰囲気を感じられたりと、とても面白く素敵なお国です。国際色豊かなヴィリニウス大学を留学先に選んだことを全く後悔していません。留学では幾つもの壁にぶつかる分、新しい自分や世界に出会えるので、是非挑戦してみたいです。

初めは現地の方が冷淡で怖いと感じるかもしれませんが、次第に他の側面も見えてきて親近感を感じる場面もあるはずなので、不安を感じ過ぎる必要はないです。また長い冬ではかなり寒く暗く雪が降り積もる時期が長く続くので、体調を崩し易かったり、気分が滅入ったりすることもありますが、そんな冬も楽しむ勢いで生き抜いてください!



国際社会科学部 国際社会科学科3年 上坊 彩奈さん (2021年9月～2022年8月 リトアニア・ヴィリニウス大学に協定留学)

リトアニア・トラカイ城の前にて (下段右端:本人)



海外協定校と協定留学プログラムによる協定留学生・派遣学生

海外協定校からの協定留学生

在籍校	国・地域	留学期間	受入人数	学科
北京外国語大学	中国	1年間	1	法学科
北京大学	中国	1年間	1	史学専攻
香港中文大学	中国(香港)	1年間	2	国際社会科学科
東呉大学	台湾	半年間	1	経営学科
東呉大学	台湾	半年間	1	日本語日文学科
ソウル市立大学	韓国	1年間	1	経営学科
マードック大学	オーストラリア	1年間	2	日本語日文学科
ニューサウスウェールズ大学	オーストラリア	1年間	1	国際社会科学科
ニューサウスウェールズ大学	オーストラリア	半年間	1	国際社会科学科
ユタ工科大学 (ディクシー州立大学)	アメリカ	1年間	1	日本語日文学科
ユタ工科大学 (ディクシー州立大学)	アメリカ	1年間	1	国際社会科学科
ノースカロライナ州立大学 シャーロット校	アメリカ	1年間	1	数学科
バージニア大学 ワイズカレッジ	アメリカ	半年間	1	生命科学科
オックスフォード・ブルックス大学	イギリス	1年間	2	日本語日文学科
オックスフォード・ブルックス大学	イギリス	1年間	1	国際社会科学科
イーストアングリア大学	イギリス	1年間	3	日本語日文学科
パリ大学	フランス	1年間	1	日本語日文学科
パリ大学	フランス	1年間	1	心理学専攻
ストラスブルグ大学	フランス	1年間	1	日本語日文学専攻
マンハイム大学	ドイツ	半年間	3	国際社会科学科
トリノ大学	イタリア	半年間	1	日本語日文学専攻
オスロ大学	ノルウェー	1年間	1	日本語日文学科

海外協定校への派遣学生

派遣先大学名	国・地域	留学期間	派遣人数	学科
香港中文大学	中国(香港)	1年間	1	国際社会科学科
淡江大学	台湾	1年間	1	経済学科
東呉大学	台湾	半年間	1	国際社会科学科
東呉大学	台湾	半年間	1	史学専攻
チュラロンコン大学	タイ	1年間	1	国際社会科学科
オーストラリア国立大学	オーストラリア	半年間	1	経営学科
ディクシー州立大学	アメリカ	1年間	1	英語英米文化学科
トロイ大学	アメリカ	1年間	1	英語英米文化学科
アイスランド大学	アイスランド	1年間	1	政治学専攻
イーストアングリア大学	イギリス	1年間	1	英語英米文化学科
イーストアングリア大学	イギリス	1年間	2	国際社会科学科
エディンバラ大学	イギリス	1年間	2	国際社会科学科
オックスフォード・ブルックス大学	イギリス	1年間	1	政治学科
パリ大学	フランス	1年間	1	国際社会科学科
パリ第十大学	フランス	1年間	2	フランス語圏文化学科
リヨン第二大学	フランス	1年間	2	フランス語圏文化学科
パイロイト大学	ドイツ	1年間	2	ドイツ語圏文化学科
マンハイム大学	ドイツ	1年間	1	国際社会科学科
ザルツブルク大学	オーストリア	1年間	1	ドイツ語圏文化学科
トリノ大学	イタリア	1年間	1	経営学科
ポローニャ大学	イタリア	1年間	1	哲学科
ポローニャ大学	イタリア	1年間	1	国際社会科学科
オスロ大学	ノルウェー	1年間	1	経済学科
ヤギェウォ大学	ポーランド	1年間	1	哲学科
ヤギェウォ大学	ポーランド	1年間	1	国際社会科学科
ヴィリニウス大学	リトアニア	1年間	1	国際社会科学科



新たに協定を締結しました

この度、学習院大学では新規にプリンスエドワードアイランド大学(カナダ)と大学間交流協定を締結しました。これを機に、本学の海外交流がますます発展していくことが期待されます。

プリンスエドワードアイランド大学

プリンスエドワード島の州都シャーロットタウンに位置するプリンスエドワードアイランド大学は、2019年に創立50周年を迎えた州立大学です。2021年秋季学期には、98カ国からの留学生が、大学全体の学生数の約30%を占める等、国際色も豊かです。広大で美しいキャンパス内には、教室棟など快適な学習環境の他、学生寮やスポーツ施設等、充実した施設がそろっています。

- 創立: 1969年
- 所在地: カナダ プリンスエドワードアイランド州
- 学生数: 5,419人 (2021)
- 学部等: Arts; Business Administration; Education; Indigenous Knowledge, Education, Research, and Applied Studies; Science 等



プリンスエドワードアイランド大学



国際センターイベント

2022年度留学フェアのお知らせ

国際センターでは、留学や国際交流に関心のある学生が気軽に話を聞き、相談できるよう「留学フェア」を年2回(例年、6月と10月、昼休みから3限)、開催しています。(今年度は、オンラインにて実施。事前申込制、通信料は各自負担のこと。)詳細は、国際センターホームページ、G-port及び掲示等で公示します。

留学フェアでは、協定留学経験者による「留学経験談紹介」や「質疑応答」「留学相談」を行います。留学先大学の様子や留学を通して得た貴重な教訓、日常生活から授業の様子を留学経験者である本学学生が紹介してくれます。その後、質疑応答や個別の留学相談を行います。「何故留学しようと思ったの?」「その国を選んだ理由は?」「語学力は通用した?」「授業はどの程度理解できた?」等々、どんな内容でも構いませんので気軽なる質問をぶつけてみましょう。

既に留学を決意している皆さんはもちろん、少しだけ留学に興味がある方、留学経験者や留学生と話をしてみたいという方の参加をお待ちしています。※2022年度第2回の開催については、新型コロナウイルス感染症の影響により、内容を変更する可能性があります。



チャットルーム2022 ~ネイティブスピーカーと話しませんか?~

国際センターでは、協定・私費留学生など外国語のネイティブスピーカーを交えて外国語で会話を楽しむ「チャットルーム」を、定期的に開催しています。

本学に在籍する留学生と彼らの母国語で会話してみませんか?

チャットルームは留学生を交えた3~4人程度の小さなグループに分かれて行います。話のきっかけとなるトピックは国際センターが事前に用意しますので、初めての方も安心して参加できます。

少しでも外国語を話してみたい、語学学習のモチベーションを上げたい、新たな友達をつくりたい、留学から帰国し久々に外国人と話してみたい等、参加のきっかけはどんなことでも構いません。チャットルームを国際交流の第一歩にしませんか?

少しでも興味のある方はぜひ、ご参加ください。



- ★日頃の勉強の成果をアウトプットしましょう!
- ★少人数のグループに分かれて行います。
- ★たくさん外国語を話せるチャンスです!
- ★語学力は問いません。

留学直前準備セミナー

留学生支援の一環として、初めての試みとなる「留学準備直前セミナー」を開催しました。このセミナーは、留学に旅立つ直前の学生を対象にしたもので、当センターの彦谷貴子教授を講師とし、7月5日及び12日の2回に渡り、「第1回:留学前準備と心構え」「第2回:留学先での勉強」について実施しました。

第2回には、スペシャルゲストとして、アメリカ・ロードアイランド大学の内田恵美教授を迎え、ご自身の経験を交えた示唆に富む大変有意義なお話をいただきました。参加した約30名の学生は真剣にノートを取りながら、改めて留学前にすべきことを確認していました。

後期も2023年第1学期出発の学生を対象に実施する予定です。



留学生のためのイベント

本学では留学生の皆さんに日本の文化や自然と触れ合える機会を提供しています。第1学期は新型コロナウイルス感染症対策に万全を期して、以下の企画を実施しました。

5/21 第1弾! 吹きガラス体験と川越氷川神社・小江戸散策

川越の吹きガラス工房で職人から指導を受けて、吹きガラス体験をしました。形・色・模様についてそれぞれ好みの組み合わせを選び、1200度もある炉の熱に耐えながら、慎重に作業を行いました。出来上がった作品は、冷却保管され、1週間後に参加した学生の手元に届けられました。川越氷川神社では、鯛おみくじを引いたり、風車の回廊で写真を撮ったりと、小さな旅を堪能していました。



6/18 歌舞伎鑑賞教室<<露会館教育助成金事業>>

一般社団法人露会館の助成のもと、留学生の皆さんに日本の伝統文化を体験してもらう機会を提供しています。6月18日(土)に、日本の伝統芸能の一つ「歌舞伎」の鑑賞会を行いました。留学生の皆さんの関心が高い歌舞伎。初めてでも楽しんでもらえるよう、歌舞伎についての簡単なレクチャーを受け、日本語のイヤホンガイドを聞きながら鑑賞しました。今回は、高等科の留学生5名も参加しました。演目名は「彦山権現暫助刺(ひごさんごんげんちかいのすけだち)」孝行と武道に生きるヒーロー・ヒロインが活躍する、心温まる歌舞伎の名作です。歌舞伎ならではの役者の表情や動きも面白いポイントでした。日本の芸術、さらびやかな歌舞伎衣装も見応えがありました。



6/4 第2弾! 魚市場見学・北千住・柴又ウォーキングツアー

普段はなかなか入れない足立区にある魚市場を2班に分かれガイドの方に案内していただきました。新鮮な魚以外にも、果物・野菜・生花などの市場も見学しました。その後は、柴又帝釈天を参拝、ノスタルジックな柴又界隈を散策したくさん歩きました。もちろん有名な黄金さん像にも対面しました。



7/2 第3弾! 鮎細工体験と上野東照宮・上野恩賜公園散策

西日暮里の鮎細工工房で、職人から鮎細工の歴史の説明を受け、鮎細工体験してもらいました。今回は「うさぎ」を作るため、熱で溶けて柔らかくなった鮎を冷めないうちにスピーディーに形作らなければならず、悪戦苦闘していました。なかにはユニークなうさぎも出来上がりましたが、みな満足そうでした。その後は、谷根干を散策しながら、上野公園に向かい、上野東照宮を参拝しました。とても暑い日でしたが、木陰で休みながら、留学生同士も親交を深め、日本の文化にも触れる良い機会となりました。

